

神話スライドset シリーズ

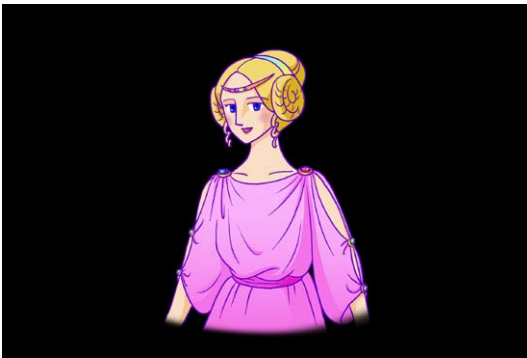
ふたご座物語

スライド枚数	: 14枚
時間	: 4分39秒
イラスト	: 塚田 洋子
ナレーション	: 冬馬 由美

LIBRA CORPORATION



8



1. 古代スパルタの王妃レダは、大変美しく、聡明な女性であることが知られていました。



2. ある日、そのレダの元に、真っ白な白鳥が舞い降りてきて、彼女にやさしく身を寄せてきました。ところが、それは、ただの白鳥ではなく、レダの美しさに目を留めた神々の王ゼウスの仮の姿だったのです。



3. しばらくして、レダは、二つの卵を産みました。そして、この二つの卵から、二組の男の子と女の子の双子が生まれたのです。

しかし、片方の卵から生まれた二人は、神々の王ゼウスの血を引いた神の子。

もう一方の卵から生まれた二人は、スパルタ王の血を引く人間のこどもだったのです。



4. 男の子の双子は、それぞれ、「カストル」と「ポルックス」と名付けられました。

このうち、弟のポルックスだけは、神の子であったので、不死身の体を持っていました。

しかし二人は、そんな違いはあっても、いつも一緒に、仲良く育っていったのです。



5. やがて、弟のポルックスは、ボクシングと剣術が得意な若者になり、兄のカストルは、乗馬と戦術に長けた若者となりました。

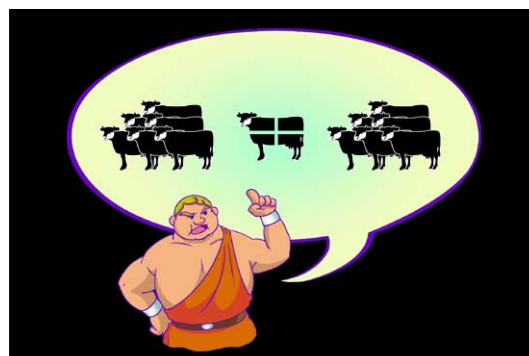


6. ところが、この二人にはライバルがいました。

同じ年頃の双子のいとこ、イダスとリュンケウス。

境遇もよく似ていて、二人のうち、イダスは、海の神ポセイドンの息子だと言われていたのです。

+音変わり



7. ある日、二組の双子が、たくさんのうしを捕まえてきた時、イダスが、ある分配方法を提案しました。

それは、「1頭の牛を4等分して、4人で早食い競争をする。そして、一番早く食べ終わったものが、たくさんの牛のうち半分をもらう。さらに、二番目に食べ終わったものが、残り牛の半分をもらう」というものでした。



8. ところが、実はイダスは、ものすごい早食い、という特技を持っていたのです。

彼は、自分の分を瞬くうちに食べつくすと弟のリュンケウスの分まで食べて、牛をすべて、ひとりじめしてしまいました。



9. だまされた、と気づいたポルックスとカストルは、二人につかみかかり、4人入り乱れての大喧嘩となりました。

しかし・・・

+

10.

SE シャーン（衝撃音）

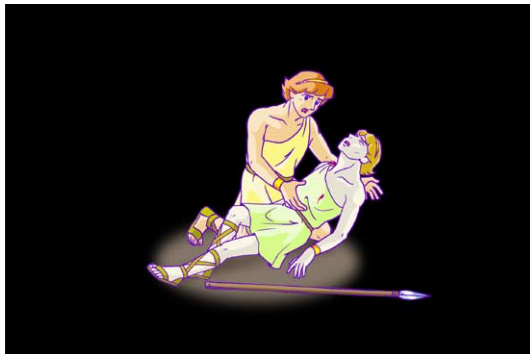
にいさん！

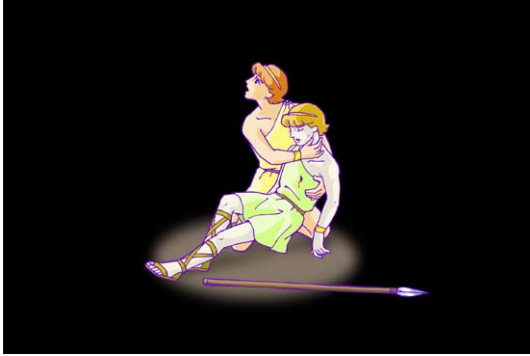
その最中、イダスの槍が、カストルの胸を貫いたのです。

+

11. 致命的な傷を負って、今や、カストルの命は、風前の灯火です。

そこで、ポルックスは、天を仰ぎこころ祈りました。





12.

「わが父ゼウスよ。

私の不死身を兄にお授けください。」

しかし、いくらゼウスでも、人間であるカストルを不死身にするわけにはいきません。



13. そこで、二人とも、星座として天に上げ、1日の半分を天上の神の国、半分を地下の黄泉の国で暮らす、という方法で、ポルックスの不死身を二人で分かち合うことにしたのだということです。

